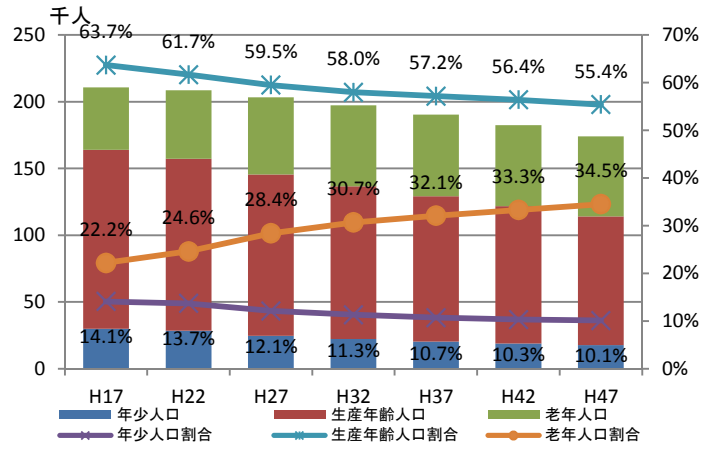


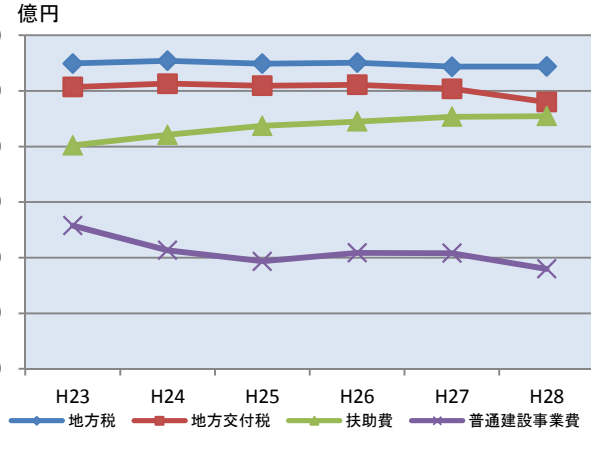
松江市公共施設白書【概要版】

【1. 人口推計】



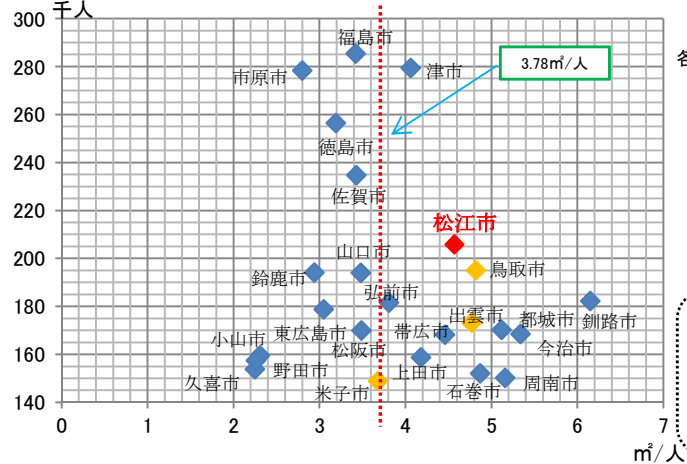
- ・H22～H42の20年間で約3万人の減少が予想される
- ・老年人口は、H42には、3人に1人となると予想される

【2. 財政推計】



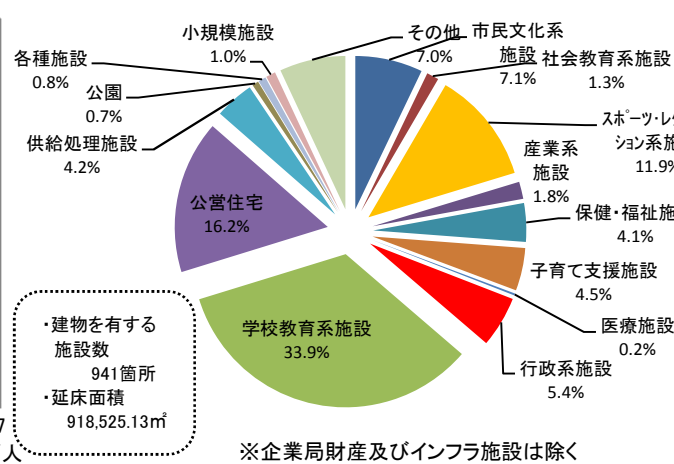
- ・地方交付税(普通交付税)の減が予想される
- ・扶助費は、増加傾向になると予想される

【3. 建物保有量の比較】



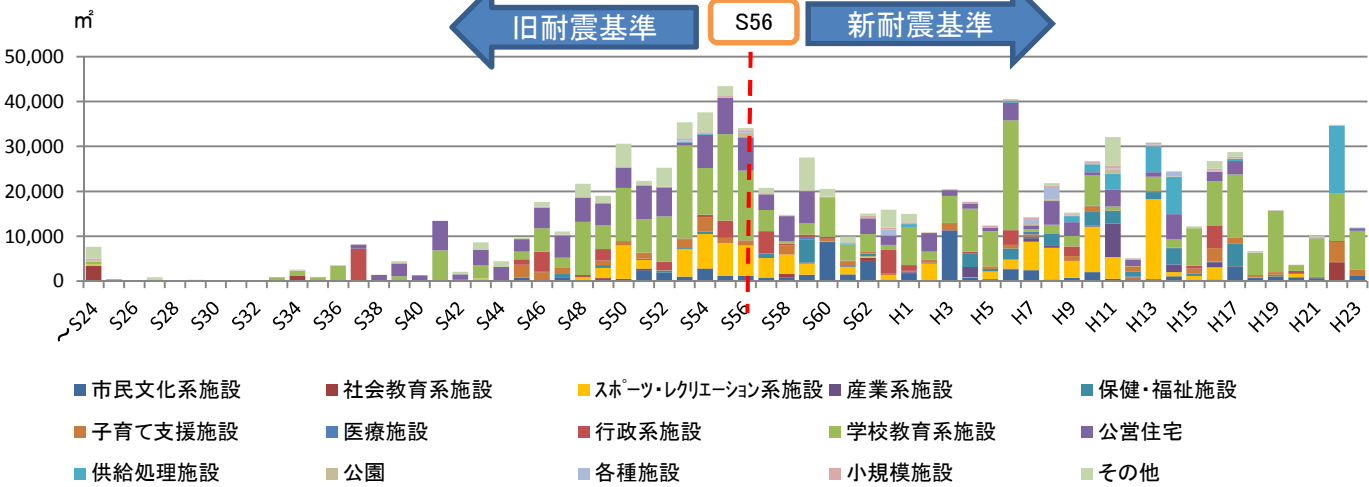
- ・松江市の住民一人当たりの建物保有面積は4.57m²/人
- ・類似団体の平均は3.78m²/人

【4. 分野別建物延床面積割合】



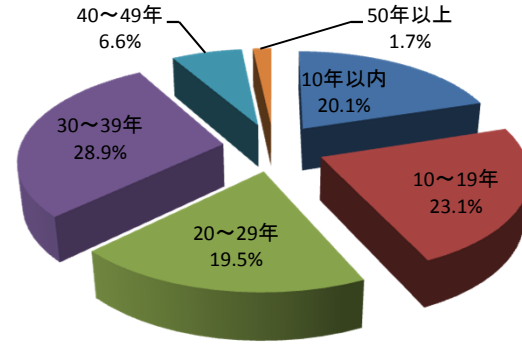
- ・保有する建物のうち、学校が34%を占めており、次いで、公営住宅となっている

【5. 建築年度別延床面積】



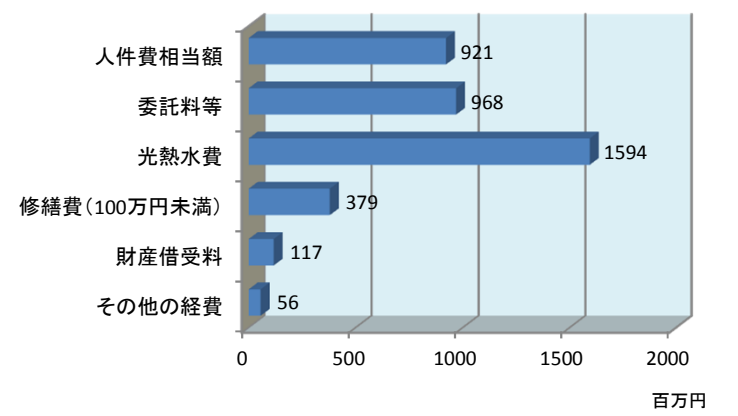
- ・S56以前(旧耐震基準)に建築された建物のうち、学校及び公営住宅が占める割合が高い

【6. 老朽化の状況】



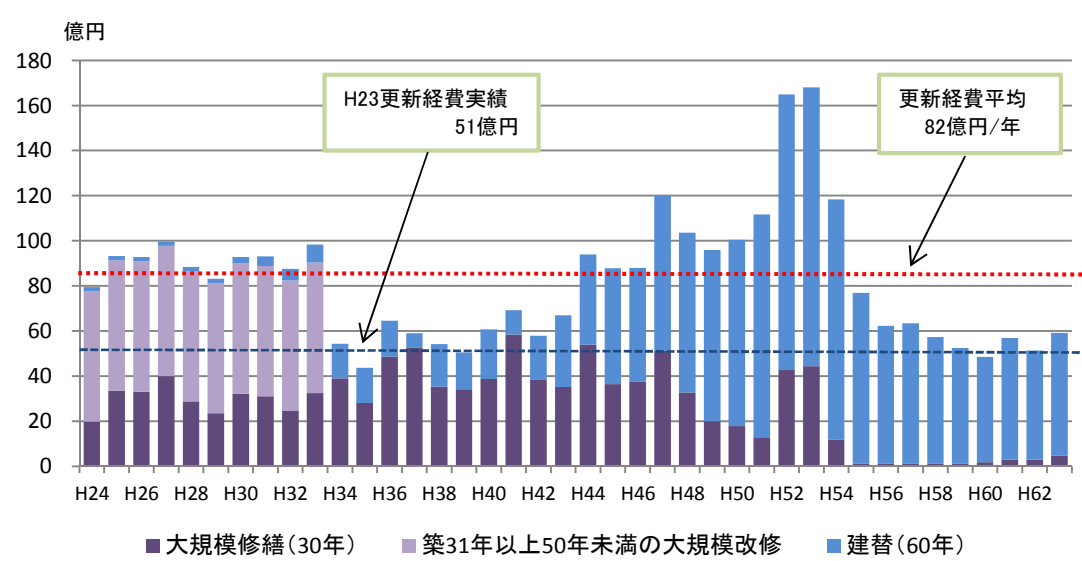
- ・築後30年以上経過した建物の延床面積は全体の37%

【7. 平成23年度維持管理系経費(光熱水費含む)】



- ・維持管理系経費40億円のうち、光熱水費が占める割合(40%)が高い

【8. 更新経費の将来予測】



- ・今後40年間の将来的な修繕・更新経費は3,270億円になると予想される
- ・H53の更新経費は168億円に達すると予想される
- ・H23更新経費の実績は51億円であった

【9. 課題】

公共施設を取り巻く状況

- ・地方税、地方交付税(普通交付税)は減少傾向にあると予想される
- ・人口は、減少傾向にあり、少子高齢化が進むと予想される
- ・住民一人当たりの保有量が類似団体と比較して多い

公共施設の状況

- ・多様な施設を数多く保有しており、機能の重複や偏りがある
- ・築後30年以上経過した建物の延床面積は全体の37%
- ・現状の施設を維持した場合、後年度、多額の更新経費を要する